

平成 2 2 年度事業計画

基本理念

「利用者の立場に立ったサービス提供」と「高齢者が自分らしく充実した生活を送れること」のお手伝い。

最近 3 年間の売り上げ比較

単位：千円

	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
総売上	135,050	129,705	129,753
ヘルパー	31,728	28,154	26,824
デイ	56,859	54,956	53,821
G H	28,683	28,959	28,730
居宅	17,780	17,636	20,738

金沢市介護保険事業計画

居宅サービスの目標量

単位：人

	平成 19 年実績	平成 20 年見込	平成 21 年
ヘルパー	2,743	2,671	2,648
デイ	3,339	3,421	3,317
G H		617	162
居宅	6,384	6,267	6,177

分析

総売り上げは 20 年 21 年を比較すると若干増加しているが、介護報酬の改定を勘案すると実質売上は減少している。通所介護、訪問介護部門の立て直しが必要な状態である。グループホームは箱ものであるため大きな変化は見られない。居宅は昨年の事業所加算による増加がみられる。通所介護、訪問介護とも金沢市介護保険事業計画の数値を見るとほとんど横ばいまたは減少であるにもかかわらず高専賃等の乱立により事業所の数は増加傾向でますますきびしい状況にある。

対策

無駄な出費を抑える。利用者の獲得、一人当たり利用回数の増加。他事業所への営業。当たり前のことを当たり前にやること。全員で経費節減、過剰な人員の削減に努める。

目標

平成 19 年の数字を具体的目標として平成 22 年は取り組んでいきたい。しかしながら、1 月、2 月は前年と比較して大変厳しい状態である。いっそうの各員の奮起を期待する。